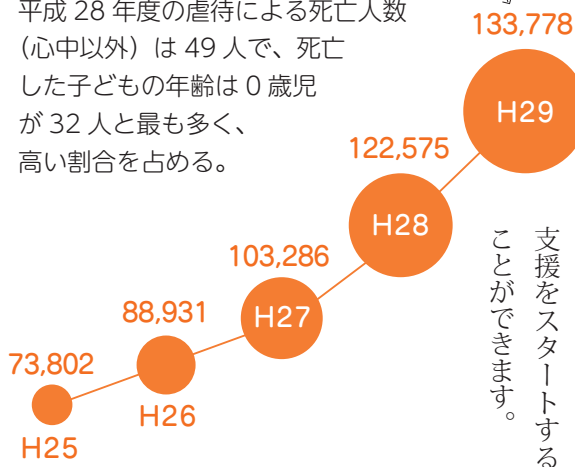


平成 29 年度 児童相談所での児童虐待  
対応件数等 出典：厚生労働省 (件)

昨年の相談件数は過去最高の13万件超。  
平成 28 年度の虐待による死亡人数  
(心中以外) は 49 人で、死亡  
した子どもの年齢は 0 歳児  
が 32 人と最も多く、  
高い割合を占める。



あなたの通告が  
子どもの命を救う

平成 29 年度に子ども  
の虐待で児童相談所へ  
相談のあった件数は  
13 万件を超え、過去最多  
を更新しました。統計開  
始から 27 年連続の増加  
です。行政による支援は  
通告があつて始めてス  
タートします。行政自体  
が「虐待の実態」を探る  
のは難しく、複数の通告  
(情報提供) があること  
で子どもや親の状況を  
よりの確に把握するこ  
とができ、親子への  
支援をスタートする  
ことができます。

クローズアップ 11 月は児童虐待防止月間です

# 気づく知らせる 189

あなたの電話で救われる命があります。

●問合せ：保健福祉課 ☎ 22-3042

## 心理的虐待

大声で脅したり、無視や拒否的な態度、自尊心を傷つける言葉を繰り返して傷つけるなどの行為。子どもが夫婦間の暴力(DV)を目撃するなどの行為もこれに当たる。

## ネグレクト

食事を与えない、服を着替えさせない、家に閉じこめる、パチンコに熱中して子どもを車内に放置するなどの行為。病院に連れて行かない、医療ネグレクトも存在する。

## 性的虐待

子どもへの性的な行為や、性器・性交を見せるなどの行為。口止めをされているケースもあり、本人が告白しないと気づきにくい。子どもが虐待と理解できないこともある。

## 身体的虐待

保護者が子どもを殴る蹴るなどの行為。周囲から分かりやすく発見しやすいが、服の下など見えない部分にだけ暴行を加えるタイプもあるので要注意。死に至ることも。

### 子どものサイン

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声が聞こえる
- 不自然な傷や打撲のあとがある
- 衣類や体がいつも汚れている
- 落ち着きがない ●活気がない
- 夜遅くまで一人で家の外にいる



### 保護者のサイン

- 地域などと交流が少なく孤立している
- 小さい子供を家に置いたまま外出している
- 子育てに関して拒否的・無関心(強い不安を抱えている)
- 子供のけがについて不自然な説明をする



児童相談所や町の相談窓口にご連絡ください

あなたの通告で救われる子どもがいます。

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください！

児童相談所  
全国共通  
3桁ダイヤル

いち はや く  
**189**

お住いの地域の児童相談所に  
つながります。通報は匿名可。  
※通話料がかかります

通告は義務です！

虐待を受けたと思われる児童  
を発見したら通告(通報)  
する義務があります。

厚生労働省  
(子ども虐待対応の  
手引きより)

